

きのこ

特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO 広報誌

2019. 5. 1. 発行



第 44 号
特定非営利活動法人 きのくに子ども NPO
640-8401
和歌山市福島 487 ルミノーズふるい1C
Tel.Fax : 073-452-7710
E-mail : kinokuni.kodomo@nifty.com
<http://kinokunikodomo.d.dooo.jp/>

今こそ “あそび”を大切に！

近い将来、私たちの単純作業はAIが担うと言われて
います。スマホで決済する無人のコンビニも出来そうで
す。
さて、一時流行った案内ロボット君は姿がみえません。
彼らはプログラム通りの受け答えはできるが、人からの
複雑で曖昧な質問には答えることができなかったのだ
です。ロボットは「つまらない」のです。
人しかできないことはたくさんあります。創造するこ
と、社会性をもつこと、勘をはたかせること。どんな
にAIが進歩しても人の脳の働きには及びません。これ
からの子どもたちに必要なのは、この特性を磨くこと
です。知識の詰め込み（AIにはかなわない）ではなく、
クリエイティブ（創造）の能力を身に付けるのです。
そのためには遊ぶことが大切です。いろんなことを体
験すること、いっぱい失敗して工夫する智慧を身に付け
ることです。自然の中で五感を養うことも大切です。自

分の目で見えて耳で聞いて触って舐めてみる。五感を養
えば「勘」がきくようになります。
グローバルな世界を渡るには、様々な価値観、民族
性を尊重できることが必要です。子どもたちは遊びの
なかでルールを作り守ること、お互いの考えをすり合
わせ意見をまとめることなど社会性を身につけていき
ます。そして、小さい頃からいろんな人たちと交わる
ことによって多様性を知ることができます。
AIの時代だからこそ、もっと自然の中で遊ばなく
てはいけません。もっと人と関わらなくてはいけない
のです。
私たちのくに子どもNPOでは、幼児から小学
生、高校生、子育て中の大人までを対象にした様々な
活動をしています。今の子どもたちに必要なもの、子
どもの成長に本当に大切なものを考えて活動を創って
います。



根来山げんきの森で



ぐるんぱ わらべうた



イメージ遊び



チャティーもあ おばけやしき

きのくに子どもNPO 今年度の予定

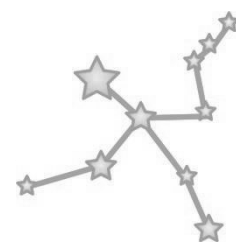
遊 び

生活体験

自然観察

星空に親しもう！星ふる里で自然体験キャンプ2019

＜子どもゆめ基金助成活＞



①8月2日(金)～3日(土)、②3日(土)～4日(日)

場所：ふるいちオートキャンプ場(有田川町)

＜事前活動＞

☆6/30(日)「親子キャンプ説明会」全体説明会と望遠鏡作り

＊キャンプ参加希望者は必ず説明会に参加してください。

☆7/7(日) 講座とプラネタリウム体験

「宇宙の不思議と星を知ろう」

講師：富田晃彦先生(和歌山大学教授) 予定

☆7/23(火)

「飯盒炊さんとグループ活動」

高学年対象



詳細はチラシで確認
してくださいね！

和歌山の海を再発見！ 海の生き物と環境問題

①5/18(土)「磯の観察をしよう！」

浜の宮海水浴場 講師：平井研先生

磯の生き物を観察して、和歌山の海の生き物の
多様性不思議さ、海の素晴らしさを学ぼう



②10/20(日)

「山・川・海のつながりを考えよう！」

根来山げんきの森

根来山の「漁民の森」に行き山川海のつながりにつ
いて考えます。そしてたっぷり遊ぼう！

＜子どもゆめ基金助成活動＞

遊ぼう！作ろう！ 3世代で楽しむ伝承遊び

＜子どもゆめ基金助成活動＞

コマまわし、けん玉、お手玉など昔あそびを名人に教わり
ながら、みんなで遊んでみよう！
凧、竹トンボも手づくりして遊ぶよ！
大勢で楽しむ集団遊びをやってみよう！

予定 11/23(土)、2020年1/19(日)、1/26(日)、2/22(土)

12/15(日)パフォーマンスショーとワークショップ



こまのおっちゃんのコマのサーカス

こまのおっちゃんこと藤田由仁さん(日本独楽博物館
館長)がやってくる！

伝統芸のコマや世界の珍しいコマの技を披露してく
れます。ワークショップではみんなでこま回しにチャレ
ンジ！まわせない人も、まわせるようになりますよ！

きのくに子どもNPO会員募集中！！

- ・正会員（活動をつくる）
- ・活動会員（活動に参加する）
- ・賛助会員（活動を支援する）

＜会費＞・正会員、活動会員とも

1家族900円+500円×家族人数

・賛助会員 1口1000円、3口以上

問い合わせは

事務局 tel.fax.073-452-7710

会員になると・・・

- ・子どもの成長や子どもの活動または社会参画を
サポートすることができます。
- ・子どもに関する情報が毎月届きます。その中か
ら参加したいものに会員価格で参加できます。
- ・年2～3回無料で年令に応じた舞台鑑賞ができ
ます。



心にとどく舞台鑑賞！

異年齢の集団づくり！

五感を育てる自然のなかでのあそび！

今、子どもの成長のために本当に必要なことを考えて きのくに子どもNPOは活動を創っています



6月1日(土)14:00～
和歌山市民会館
市民ホール

☆チケット
1人2000円
(3才以上)
親子ペア3000円
＊きのくに子どもNPOまで



生舞台鑑賞の面白さをぜひ体験して下さい！
愉快で切なくて感動的な舞台です。
親しみやすい今作品をきっかけに、

子どもから大人までみんな舞台に釘付け！
子どもから大人までみんな舞台に釘付け！

トミー・アンゲラー作「すてきな三にんぐみ」が原作のミュージカルです。
人気の絵本なので、みなさん一度は読んだり聞いたことがあるのではないのでしょうか？三人の大ドロボウが、ティファニーと出会う真の人間性を取り戻し、彼女の夢をかなえていくというお話。魅力ある俳優陣がすてきな音楽にのせてお芝居と歌とダンスでオシャレな舞台を見せてくれます。
子どもから大人までみんな舞台に釘付け！

「すてきな三にんぐみ」

(オフィス・アートプラン)

★ミュージカル



小学低学年の親子の遊びの会

きのくに子どもNPOの「もりもりキッズ」や「森のようちえん」、「幼児部」の活動を通じて一緒に遊び、育ち合ってきた子どもたちが学齢期を迎えています。メンバーの中から「幼児部卒業して、小学校行っても一緒に遊びたいよね」「親同士もいろいろ話したいね」という声があがっていました。

この親子のつながりを生かして、小学校低学年の親子の遊びの会をはじめます。

これまでの活動の積み重ねの中で、子どもが親の手元を離れ子ども同士遊んだり、年長の子どもの下の子どものお世話をしたりという姿を見かけるようになりました。

また、親でない大人とも



信頼して関わりがもてるようになっていきます。

子ども達は気心の知れた「仲間」と安心して、楽しく遊んだり、ときにはケンカもする中で人と人のつながりや折り合いのつけ方などを学ぶ場になっているのではないのでしょうか？

親同士もつながることで、少し悩んでいること、気になっていることを聞いてもらえる場になっています。子育ての責任を「家族」や「親」だけが背負うのではなく、みんなでみんなの子どもを見るという雰囲気自然に出来上がっています。

小学低学年の「親子の遊びの会」は、子どもの意見も取り入れながら、参加者が一緒に活動を創っていく場です。

自然の中で五感を大切にした活動や集団遊びの機会をたくさん作りたいと思います。

あなたも一緒に活動しませんか？

きのぴー交流会

3月30日(土)～31日(日)



きのぴー交流会とは、日頃きのくに子どもNPOの活動を作っている中学生・高校生・青年が集まり、様々なワークを行う中でコミュニケーションをはかり、それぞれの理解を深める事を目的とした交流会です。実行委員会ではテーマを考える会議をしている時、一人の高校生がつぶやきました。
「普段からみんなは自分の意見って言ってるんやろか？」
どうやらこの高校生はグループでの活動で意見がまとまらない：どこか意見が出ないことにちょっと困っていた様子でした。どんな小さな事でもいいからみんなの思いを声に出して欲しいよね！というところで『自分の意見を言ってみよう！』をテーマに交流会を実施しました。
実際の交流会では、好きな井は何か？や最終部活動歴は？といった質問から自分と同じ意見の仲間を探すゲームなど簡単だけどコミュニケーションを大事にした遊びをたくさんしました。
グループに分かれて「パン屋さんをつくらう」のワークシヨプも行ないました。どんなお店にしたいのか、売るものや値段だけでなく、アピールポイントや内装・外装など様々な事を考えて話しました。どんな

意見を出す人、それいいやんと乗っかっていく人、いやいやちょっと待てよと反対意見を出す人：話せば話すほどいろんな方向へ広がりがなくなかまともない場面もありました。でも、なんとかたくさん思いの詰まったパン屋さんが出来ました。
ほとんどの若者がスマホやタブレットを持っていた時代。面と向かって話さなくても、つながっていると思いがちですが、実際のところ「本音」が言える関係性をつくることは意外と難しいのかもしれない。交流会だけでなく、普段の「よりみち」(中・高・青年の居場所事業)や中学生、高校生グループの自主活動でも、「自分の思っていること」が言えて、お互いが「素」の部分でもっとつながりあえるようになればいいなと思います。
→パン屋さんの発表

